



～ 世界の子供たちに学ぶ機会を！ 学ぶ喜びを！ ～

No.7

**認定NPO法人LSスコラ育英基金** 〒156-0055東京都世田谷区船橋1-25-15

☎ & Fax：03-3428-8307

E-mail：scola\_japan@yahoo.co.jp、HP：http://scola.web.fc2.com/index.html/

郵便振替番号：00100-0-767496 特定非営利活動法人LSスコラ育英基金

### <理事長退任にあたって>

今般5月31日付で、NPO法人「LSスコラ育英基金」の理事長職を退任することになりました。法人活動の活性化・円滑化に向け、ここ数年、より若い世代へのバトンタッチを望んできましたが、(理事職には留任という条件付ながら)念願がかなうことになりました。

「LSスコラ育英基金」は、それまでの「ラ・サール同窓会育英基金」をベースに2009年4月に設立されましたが、そこでは、一貫して、「我々の受けた教育への報恩」とともに、「学ぶのが困難な状況に置かれた子供たちを救おうとする普遍的な教育理念」の実践的活動を旗印にして、主に経済面からの支援活動を実施してきました。同窓会活動の中から生まれながらも、法的には独立し、上記教育理念を求める「LSスコラ育英基金」は、他に類を見ない我々の誇れる組織的な活動だと思えます。

宇野新理事長は、法人化の5年前から共に活動してきた仲間であり、企業の役員も務めてこられた敬虔な方で、理事長としてぴったりの信頼できる方です。松崎新副理事長も、理事の中ではまだ新しい方ですが、真面目で信頼できる方です。両者を軸に、今後の活動も、特に支援者であるスコラ・サポーターとのコミュニケーションを大切にしながら、一方で同窓会の今回新たに発足した未来委員会との情報共有も大事にしつつ、新たな明るい地平を開いていけるよう祈りたいと思えます。

理事長として10年余り、大過なく務めてこられたのも皆様方の支援の賜物として深く感謝しております。今後ともどうぞよろしくお願い致します。  
(前理事長 中村勝洋)

### <長年にわたりご協力ありがとうございました>

中村理事長の使命感と揺るぎない指導力と、NPOの構成員の皆様のご協力で数ある難問を乗り越えてきました。副理事長という職責の難しさを感じながら、皆さんとの調和と調整ができたのであれば、幸いです。

教育の貧困が、子供たちを過酷な労働や戦闘に駆り出されてる中、我々の活動が現状打破の一助になればとの思いでした。今後は、宇野さん、松崎さんの新コンビで、益々の発展を期待しております。  
(前副理事長 大坂恒悦)

## ＜理事長就任のあいさつ＞

5月13日に開催しました通常総会で、理事5名、監事1名全員の役員が重任され、続いて5月18日の理事会において理事長、副理事長の互選が行われ、中村勝洋前理事長の後任として、理事長を拝命いたしました。大役を仰せつかり身の引き締まる思いですが、使命を全うすべく、全力を尽くす所存でございますので、皆様方のご指導をよろしくお願い申し上げます。

さて、LSスコラ育英基金とはNPO法人化される5年前の2004年頃からの関わり合いですが、これまでは、事務局の一員として主に会計・広報業務を担当し、2016年12月の認定NPO法人としての認証を取得する作業も担当してきました。来年12月には5年間の認定期間が満了することから、引続き「認定」認証を取得できるよう、取り組んでまいりたいと考えております。

これまで当基金は「聖ラ・サールの精神」(「学びたくても学べない子供等を救おう」等)と「教育」を理念として活動してきましたが、本年度は新型コロナウイルスの関係で困窮している青少年とその家族に対し、安心して教育を受けることのできる生活環境づくりへの支援事業として、世界のラ・サリアンと連帯した支援活動にも取り組んでまいりますので、支えてくださる皆様方のご支援を是非ともよろしくお願い申し上げます。

中村前理事長が長年にわたり高く掲げてきた「報恩」と「育英」の灯が絶えることのないよう、また当基金の新たなステージを皆様と共に築くことを決意しておりますので、引続き、ご支援ご指導を賜りますよう何卒よろしくお願い申し上げます。 (理事長 宇野哲人)

### 2020年6月からの新体制

役 職	氏 名
理事長	宇野 哲人
副理事長	松崎 潤一
理事	中村 勝洋
理事	大坂 恒悦
理事	黒木 秀敏(事務局長)
監事	岡田 利雄



ベトナム ラ・サール タンフン チャリティスクール提供

## ＜副理事長就任のあいさつ＞

副理事長の要職を仰せつかった松崎です。「LSスコラ育英基金」は「世界の子供たちに学ぶ機会を！学ぶ喜びを！」を標語に活動して来ました。この度、同窓会東京支部の組織である「未来委員会(旧21世紀委員会)」との関係を整理して新たなスタートを切ったところですが、これからの活動内容に変更がある訳ではなく、引き続き聖ラ・サールの理念実現の一翼を担い国内外の子供たちの為に活動して行きますので、ご理解とご支援をお願い致します。

特に若いラ・サリアンの協力に期待しています。

(副理事長 松崎潤一)

## 1. 2020年度上期の事業報告

### (1) 「国内の養護施設出身の大学進学者に対する奨学金の給付」

仙台の児童養護施設ラ・サール・ホーム出身で、浪してこの春国立大学に合格しました。ただ経済的に大変厳しい環境にあることから、当NPOの「大学生給付奨学規程」による入学一時金(30万円)及び奨学金(月1万円)の給付申請があり、5月に36万円(入学一時金+奨学金上期分)を支給しました。

国内では初めてのケースであり、本人の学業生活を見守りたいと思います。

### (2) 「海外(アジア)の貧しい学生に対する高等教育継続のための育英資金の交付」

ベトナムのタンフンチャリティースクール(小学校)の出身で、向学心にあふれ中学・高校・大学の高等教育をめざす57人の卒業生に学費を支援し、彼らの学び続ける「夢」を応援しました。6月に4,243ドル(460,621円)を送金しました。

### (3) 「新型コロナウイルス問題で特に生活が困窮したアジアの学校の学生とその家族に対する食糧支援等」

今回の新型コロナウイルス問題で、ラ・サール会の運営する学校及び担当するプロジェクトに対するインターネットを使ったMeeting on Global Lasallian Response to Covid-19で緊急支援の必要性が点検されました。

当NPOでは、緊急支援が必要とされた案件のうち環太平洋アジア管区のベトナムとカンボジアの以下の案件に、安全・健康を確保できる生活環境作りへの支援事業として6月に合計で13,925ドル(1,511,704円)を送金しました。

- ① ベトナムのタンフン チャリティースクール在校生等142人への食糧支援や衛生用品購入支援(3,950ドル)
- ② カンボジアのポウテム校(貧しい学生のための無料の学校)への食糧支援(家族100名に対する食糧支援、生徒40名の学校での昼食支援)(9,975ドル)

## 2. 2020年度下期の事業計画

### (1) 「世界の恵まれない青少年への育英資金の交付事業」

仙台ラ・サール・ホーム出身の大学進学者に奨学金(下期分)を6万円、大学進学予定者に入学一時金を30万円支給

### (2) 「世界の恵まれない青少年が、教育・職業訓練を受けられる施設及びその設備、備品などの整備事業」

パプアニューギニアの能力開発センターで学ぶ貧しい受講者急増に対応するため施設を拡充するために必要な資金の支援

(総額\$30,000の半額の\$15,000を来年度上期と2年度に分割し支援)

### (3) 「海外からの恵まれない留学生への支援事業並びに国際交流事業等への資金支援」

東京外大への留学生等を対象にした「ふじのくに留学生ツアー」事業の諸経費のうちバス代等の一部10万円を支援

(理事・事務局長 黒木秀敏)

## <2019年度事業収支報告> (2019年4月1日～2020年3月31日)

### 活動計算書(要約) (単位:千円)

科 目	金 額
I 経常収益	
受取寄付金	2,745
受取利息	1
経常収益合計	(2,746)
II 経常費用	
人件費	0
支援事業費	1,185
送金手数料	7
事業費計	(1,192)
人件費	0
業務代行手数料	270
通信費	50
自動引落手数料	56
その他経費	34
管理費計	(410)
経常費用合計	(1,602)
III 当期正味財産増減額	1,144
IV 前期繰越正味財産額	21,250
V 次期繰越正味財産額	22,394

- ・2019年度に皆様からいただいた寄付金の総額は2,745千円で、前年度に比べ745千円の減額となりました。
- ・生前贈与によるもの、ゴルフコンペ時の余剰金など原資もさまざまでした。
- ・寄付いただいた皆様は、153名で前年度に比べ21名の減少となりました。口座引落終了期限を迎えた方で7名、基金開設以来長年にわたるご支援にあらためて感謝いたします。
- ・専用の「払込取扱票」を使った寄付が34件ありました。引続きご活用ください。
- ・支援寄付先は海外1件、国内1件で、受取寄付金額の約43%にとどまりました。寄付予定案件がいくつか整わず計画未達となったことによるものです。
- ・寄付内容を定款の事業種別でみると、「世界の恵まれない青少年が、教育・職業訓練を受けられる施設及びその設備、備品などの整備事業」に1件、「海外からの恵まれない留学生への支援事業並びに国際交流事業等への資金支援事業」に1件となっております。
- ・次期繰越正味財産額は全額、銀行預金であります。



#### 一 事務局からのお知らせ

- ・SCOLAとともに、ゆうちょ銀行の「払込取扱票」を同封いたしましたのでご活用ください。過去にご寄付いただいた全ての方にお送りしています。
- ・年末調整時に「寄付金受領証明書」をお送りしていますが、住所変更が発生した場合には、メールまたは電話にて当基金事務局までご連絡くださるようお願いいたします。

(理事・事務局長 黒木秀敏)

SCOLA第7号をお届けします。感想、ご意見、ご希望などお寄せいただければ幸いです。

編集・印刷：事務局 紺野晃則 E-mail：scola\_japan@yahoo.co.jp